



新年のごあいさつ



市長 伊藤 辰矢

あけましておめでとうございます。新しい年を迎え、健やかに過ごしのことと、心よりお慶び申し上げます。

今年度、市は市制70周年を迎え、山車まつりを始めとするさまざまなイベントを実施し、その多くは市内の団体や市民の皆様が企画、実施したもので、大いに盛り上げていただきました。

70周年も残すところ3カ月となりましたが、2月には、「夢を叶えるお笑いステージ」が開催される予定です。70周年のテーマ「市民の『わ』でつくる魅力創造都市・とこなめ」にふさわしい躍動感ある一年を最後まで全力で駆け抜けたと思います。

さて、まもなく中部国際空港が開港20周年を迎えます。コロナ禍で落ち込んだ旅客数は順調に戻りつつあり、県国際展示場では大規模なイベントも開催されるようになり、全国各地から多くの来

訪が期待できる状況になりました。この好機を活かすべく、空港や展示場の背後地として市の魅力を高め、来訪者が市内で消費する流れをつくり、市の「成長」につなげるために、その財源として今月から宿泊税を徴収します。そして、持続可能な財政運営を行い、市民の皆様の「安全」、「安心」の取組みにつなげてまいります。

また、今年は、児童生徒の熱中症対策および災害時における避難所の環境改善のため、夏までに全小中学校の体育館にエアコンを設置します。

これからも市民の皆様にとずっと住み続けたい街「ずっと常滑。」とさせていただけるよう、引き続き不断の努力で取り組んでまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして幸多き一年となりますことを心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

令和7年元旦



市議会議員 加藤 久豊

あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、清々しく希望に満ちた新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、日頃から市議会の活動につきまして、ご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、市制70周年を迎え、とこなめ山車まつりをはじめ数々の記念事業が実施されるなど、活気に満ちた年になりました。

さて、市議会におきましては、昨年は2つの特別委員会を設置しました。

文化施設等あり方検討調査特別委員会では、文化施設などについて、「常滑市公共施設アクションプラン」策定時から市の状況なども変化している中で、今後、どのような方針で進めていくのが課題となっているため、さまざまな視点から積極的に調査研究し、検討を重ねてまいりました。引き続き、市民一人一人の声に耳を傾け、真摯に課

題に取り組んでまいります。

また、議会だよりあり方検討調査特別委員会では、議会活動の情報を発信する議会だよりについて、読みやすいものとなるよう、8月の発行から紙面をリニューアルしました。今後も、市民の皆様に関心され、読んでいただける工夫を検討してまいります。

市民の皆様におかれましては、引き続きのご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

結びに、本年が常滑市にとって活力にあふれ、市民の皆様にとって輝かしい1年となりますことを心よりご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

令和7年元旦